

事業者温室効果ガス削減計画書概要(第二計画期間)

1 事業所の概要

事業者の名称	河北新報印刷株式会社		
事業所の名称	河北新報印刷センター		
事業所の所在地	仙台市泉区明通3丁目13番地		
主たる事業	印刷・同関連業		
事業者の該当要件	<input type="radio"/>	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第15条第1項に該当する一般事業者	
温室効果ガス排出抑制のための基本方針	省エネ活動取組みは電力抑制活動が主となっており、様々な観点から抑制策を見出す努力活動を行っている。結果として温室効果ガス抑制に繋げている。		

2 温室効果ガスの削減目標等

温室効果ガスの排出状況及び削減目標 ・ 非化石エネルギーの使用割合目標	基準年度	2022 年度	基準排出量	3,094 t-CO ₂	基準原単位	2.522
	目標年度	2025 年度	目標排出量	3,000 t-CO ₂	目標原単位	2.4
			削減率	3.03 %	削減率	4.83 %
			非化石電気	1.00 %	その他非化石エネルギー等	1.00 %
目標設定の考え方	温室効果ガス抑制策実施するにあたり、令和4年10月完了となった新聞印刷用輪転機(省エネ型)更新の活用方法に着目しなくてはならない。あわせて照明設備・空調管理もこれまで通り無駄のない活用方法をさらに導き出す必要がある。省エネ活動への取り組みも全体周知を目標とし、可能な限り電力抑制へ結びつけることを努力する。 将来的に自然エネルギーを取り入れ、工場使用電力エネルギーの一部を活用し、自然エネルギーの使用割合を向上することも目標とする。R5.7月現在、検討中。					

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施計画	基準年度実施率	100 %	目標年度実施率	100 %
選択対策の実施計画	項目			実施年度
	エネルギー使用量の見える化(前年度比較)			実施済
	外部機関による省エネ診断			実施済
	生産性管理			実施済
	エネルギー使用量の見える化(分計による課題発見)			実施済
	ポンプ、給水システムの保全管理			実施済
	ファン、ブロワ、給気システムの保全管理			実施済
	デマンド管理			実施済
	窓の断熱性向上			実施済
	外気冷房			実施済

様式第1号別紙1

	項目	具体的な取組内容	実施年度
その他の対策の実施計画	その他地球温暖化を防止する対策の実施	雨水を蓄積しトイレ、洗車(トラック)、散水への再利用で資源有効を有効活用する	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	古紙からインキを抜いた脱墨パルプを配合した用紙の使用と、印刷時に発生する損紙(商品にならない新聞)の回収を徹底し、損紙委員会を設置「データ収集・分析」「問題点の整理」などを行いながら経費節減に努める。	実施済
	廃棄物削減対策の実施	産業廃棄物の削減では、「分ければ資源、混ぜればゴミ」を合言葉にゴミ分別表を提示し徹底を図る。	実施済
	グリーン調達の実施	グリーンマーク製品の購入を推進	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	エネルギーの使用量を計測・記録しているほかに、省エネ委員会にて電力量削減のために対策案を企画検討し、エネルギーの節約に努めている。	実施済